

第42回東三河サイエンスカフェ 2009年11月19日(木) 午後6時30分～8時00分 豊橋駅前サテライトオフィス



<http://www.ita.tutkie.tut.ac.jp/~kawai/cs/>

東三河サイエンスカフェ

検索

サイエンスカフェは、講演会や体験講座とは違い、ゲストスピーカーやほかの参加者とのフランクな語らいを楽しむ場です。どうぞ、サイエンスについて語らう楽しみを満喫してください。

極低温の世界へようこそ！

人類がこれまでにつくり出した温度は、高温では水素の核融合の約1億℃から、低温では断熱核消磁で到達した銀の原子核の約1億分の1K(絶対温度)まで17ケタ以上の温度範囲です。これに比べれば、日常生活は常温(15℃)を中心とした数十℃の範囲で、ひじょうに狭い範囲に限られています。温度を変えたとき、物質の性質が大きく変化するのはよく目にします。このことは、科学にとっても重要な意味を持っています。



液体窒素とは、窒素が冷やされて液体になったものです。水の場合は、融点が0℃、沸点が100℃ですから、0℃以下で固体、100℃以上で気体、その間では液体になります。それでは、窒素はどうでしょうか。窒素は室温では気体ですね。窒素が液体になる温度は「-196℃」です。これを液体窒素温度といいます。ふだん私たちが知らない液体窒素温度では、不思議なことが起こります。冷たい液体窒素を使って、普段は見るできない「-196℃の世界」で起こる興味深い現象を体験しましょう！

★ゲストスピーカー：

井上 満 先生
愛知県立
岡崎工業高等学校
神奈川大学非常勤講師

★先生のご専門：

化学
(化学教育・数学教育)

★先生からの一言：

豊橋技科大の先生方にはサイエンスカフェ・研究等で大変お世話になっています。今回は、みなさんを極低温の世界にご案内します。理科離れをふきとばすサイエンスショーにご期待ください！

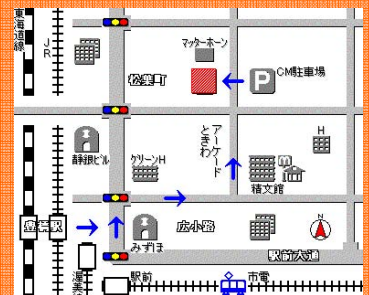
★対象：高校生以上どなたでも。参加費無料。定員20名。定員に達し次第しめきります。

事前に参加申込をしてください。

★申込：参加希望の方は、「第42回参加希望」と明記し、「氏名」「年齢」「連絡先(電話番号またはメールアドレス)」をお書きの上、下記のメールアドレスまたはFAXあてお申込みください。

東三河サイエンスカフェ事務局
メール：cs@ita.tutkie.tut.ac.jp
FAX：(0532)44-1304
申込〆切：11月18日(水)正午

★ご連絡いただいた個人情報、申込受付等の連絡業務にのみ使用します。



★会場(豊橋技術科学大学 豊橋駅前サテライトオフィス)：豊橋駅から、広小路どおり、ときわアーケードを通り抜けた先の左側にあります。駅から徒歩5分。電話：(0532)55-8252